

## 水道・工業用水道事業に係る水源状況等について

### 1 現状

東海地方は6月7日頃に梅雨入りしたものの、4月下旬から降水量の少ない状態が続いており、県内のダムにおける貯水率の低下や河川流量の減少が見受けられます。このままの状態が続くと、渇水となることが懸念されています。

### 2 水源の状況等

#### (1) 櫛田川（蓮ダム）

6月21日、国土交通省（河川管理者）、三重県、櫛田川の利害関係者で構成する「櫛田川渇水調整協議会」が三重河川国道事務所で開催され、「6月22日0時から蓮ダムの補給量を概ね30%節水する」ことが決定されました。

現在のところ、企業庁が運営する南勢志摩水道用水供給事業、松阪工業用水道事業の給水に影響はありませんが、受水市町に対しては水源状況の説明を、また受水企業に対しては節水の呼びかけを行ったところです。

#### (2) その他の水源

木曾川用水などを水源とする北中勢水道用水供給事業、北伊勢工業用水道事業及び雲出川を水源とする中伊勢工業用水道事業についても、現在のところ給水に影響はありません。

なお、木曾川用水、三重用水については、水資源機構から、それぞれ水源状況などの情報共有が図られているところです。

事業名	水源
北中勢水道用水供給事業	木曾川用水（岩屋ダム）、三重用水（中里貯水池等）、長良川（長良川河口堰）、雲出川（君ヶ野ダム）
北伊勢工業用水道事業	木曾川用水（岩屋ダム）、長良川、員弁川
中伊勢工業用水道事業	雲出川（君ヶ野ダム）

### 3 今後の対応

引き続き、気象情報を注視するとともに、関係機関から水源状況、河川流況などの情報を収集して、必要に応じ受水市町及び受水企業等に対し、節水の呼びかけなどを行ってまいります。

また、今後、渇水調整協議会等で決定される節水対策の内容に応じて、適宜報告させていただきます。